

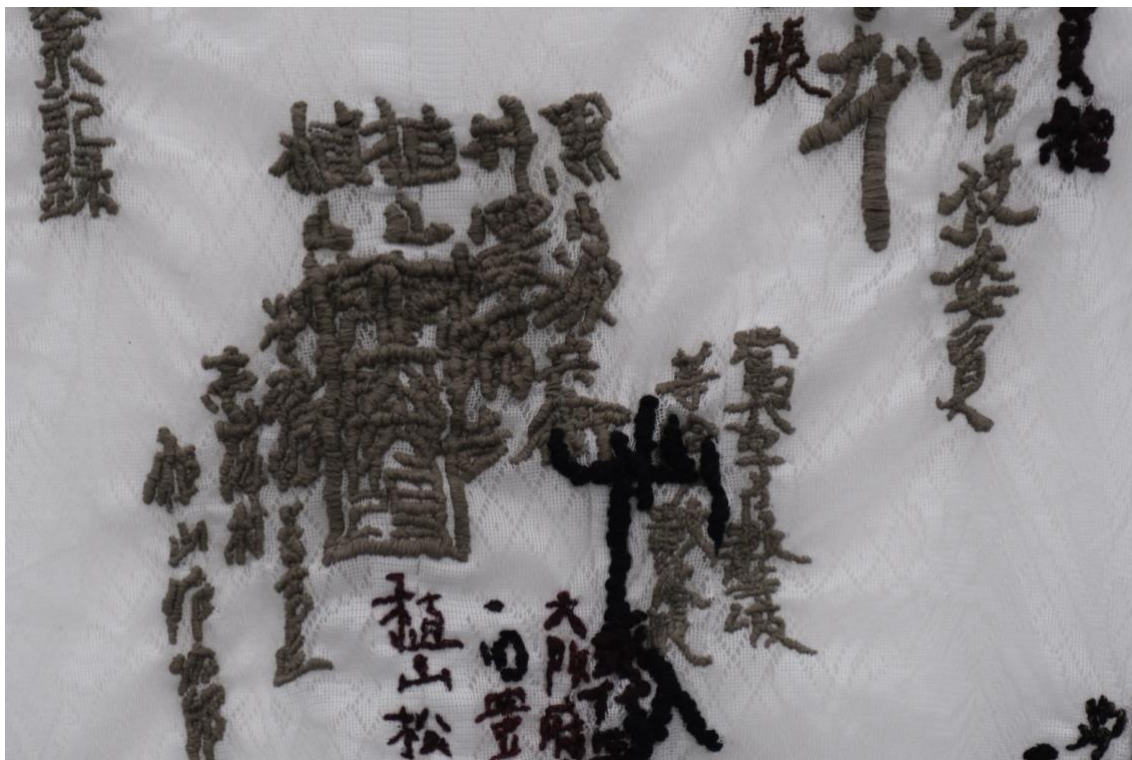
衣服の解体と再生を通し、家族の在り方を問う

SICF23 EXHIBITION 部門 受賞者展

黒山真央 「よそはよそ、うちはうち」

会期：2023 年 10 月 13 日（金）－ 25 日（水）

会場：スパイラルエスプラナード（スパイラル M2F）



《囚》(2023)

スパイラルは、2022年5月に開催したアートフェスティバル「SICF23（第 23 回スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル）」のEXHIBITION部門において、ワコールスタディホール京都奨励賞を受賞した黒山真央の個展を開催します。本展では、黒山の代表作《血脈の愛》と新作の《囚》を展示します。

母親が手作りの服を我が子に着せるという慣習や、その行為の背景にある深い愛情に着想を得た《血脈の愛》は、母娘間や姉妹間といった母方の家族における精神的なつながりの視覚化を試みた作品群です。かつて着用していた衣服を繊維の状態にまで解体し、混ぜ合わせ再構成する過程を通し、衣服に残る記憶を辿ることで、それぞれの関係やつながりを作品化および標本化しています。

一方、《囚》は、父方の祖母が嫁ぎ先で家業に縛られた「家」という存在に焦点を当てます。祖父宅にあったカーテンに祖父の背広を解体した糸を使って、古文書に記された代々続く家長の系譜を刺繍し、祖母の背負う重圧やしがらみを視覚化します。

私たちは、黒山が属する2つの家や家族にまつわる作品を通し、そのさまざまな在り方や問題に気付かされます。

SICFのほか、2023年にVOCA佳作賞を受賞し、ますます注目を集める若手作家による個展をお楽しみください。この機会にぜひ掲載のご検討をお願いいたします。

出展作品（一部）



《血脈の愛、祖母と母》（2020）
祖母と母の服
1800×1300mm



《血脈の愛、祖母と私》（2021）
祖母と私の服
2000×1000mm



《血脈の愛、私と妹》（2021）
私と妹の服
1000×1000mm

プロフィール



黒山真央 | Mao Kuroyama

〈略歴〉

1999 年 愛媛県出身

2022 年 東京造形大学 造形学部 デザイン学科 テキスタイルデザイン専攻 卒業

現在、東京造形大学 大学院造形研究科 造形専攻 デザイン研究領域 在学中

〈主な活動〉

2021 年「SHIKOU 展」(オンライン展覧会)

2022 年「The Creation at JANUS 2022 入賞入選作品展」(Janus Creation/東京)

2022 年「"textile"」(スパイラルガーデン/東京)

2022 年「SICF23」EXHIBITION 部門 (スパイラルホール/東京)

2022 年「SKIN IS」(相模原市民ギャラリー/神奈川)

2023 年「手とテ展」(LIGHT BOX GALLERY AOYAMA/東京)

2023 年「VOCA 展 2023 現代美術の展望—新しい平面の作家たち—」(上野の森美術館/東京)

〈主な受賞歴〉

2020 年「JAPAN TEXTILE CONTEST 2020」学生の部 シーズ賞受賞

2022 年「Dorothy Waxman International Textile Design Prize」ファイナリスト選出

2022 年「The Creation at JANUS 2022」最優秀賞受賞

2022 年「SICF23」EXHIBITION 部門 ワコールスタディホール京都奨励賞 受賞

2023 年「VOCA 展 2023 現代美術の展望—新しい平面の作家たち—」VOCA 佳作賞受賞

開催概要

SICF23 EXHIBITION 部門 受賞者展 黒山真央 「よそはよそ、うちのうち」

会期：2023 年 10 月 13 日（金）－ 25 日（水）11:00 － 20:00 入場無料

会場：スパイラルエスプラナード（スパイラル M2F）東京都港区南青山 5-6-23

お問い合わせ：03-3498-1171（スパイラル代表）

展覧会 URL：https://www.spiral.co.jp/topics/esplanade/mao_kuroyama

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラル